

— 祈りの原点とキリシタン文化

天草

海流に魅せられた島



四方を海に囲まれた天草島では、「海と船」が、島民の暮らしを支えていた。すでに中世の頃から中国をはじめとするアジア諸国との物流があった。やがてアルメイダ神父によって、もたらされた新しいキリスト教文化は、島民たちの生活に変化をもたらす。しかし、その後幕府の宗教政策の影響から、時代は「島原・天草の乱」、そして弾圧へと流れていった…

2011年
6月6日(月) — 7月13日(水)

時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時半まで) ※日曜休館
会場 西南学院大学博物館1階特別展室、2階講堂

入場料 無料

主催 西南学院大学博物館

協力 天草市立天草キリシタン館

船の科学館・海と船の博物館ネットワーク

— 第9回 — 特別展関連公開講演会
(事前予約不要・入場無料)

期日 2011年6月18日(土) 時間 14:00～16:00
場所 西南学院大学博物館2階講堂

基調報告 安高 啓明氏(本学博物館学委員) | 中山 圭氏(天草市教育委員会学委員) | 松本 博幸氏(天草市立天草キリシタン館学委員)
「海流に魅せられた島 天草」 | 「海の領主天草五人衆と関連遺跡出土陶磁器」 | 「天草とキリスト教」

シンポジウム テマ / 天草島における海外交渉とキリシタン文化
司会 / 高倉 洋彰氏(本学博物館館長) パネリスト / 安高 啓明氏・中山 圭氏・松本 博幸氏

せいなんこどもワークショップ
船のペーパークラフトをつくろう

期日 2011年6月25日(土) 時間 10:00～12:00
場所 西南学院大学博物館 参加費 50円(保険料)

西南学院大学博物館

博物館事務室 TEL.092-823-4785 〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
URL www.seinan-gu.ac.jp/museum/

西南学院大学



— 祈りの原点とキリシタン文化

天草

海流に魅せられた島

平成23年

6月6日(月) — 7月13日(水)

時間 午前10時〜午後6時(入館は午後5時半まで) ※日曜休館

会場 西南学院大学博物館1階特別展室、2階講堂

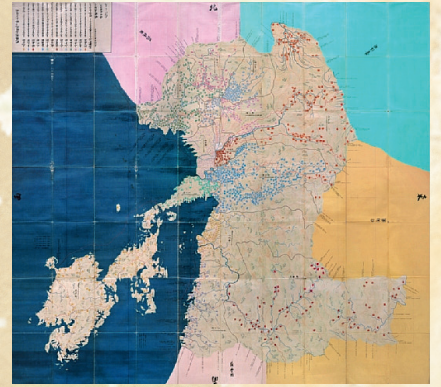
入場料 無料

I. 海流融合の地 天草

四面を海で囲まれた島、天草は多くの古地図に登場する。なかには中国人が作成したものまであり、東西文化が融合した地“天草”は広く認識されていたのであった。



南蛮船模型(天草市立天草キリシタン館蔵)



天保国絵図(画像)(国立公文書館蔵)

II. 天草島と文化の芽生え

天草島にアルメイダ神父が訪れたことによって新しい文化の萌芽があった。天草学林が設置され、ここでは新しい出版物が発刊される。また信仰のあり方も意識されるなど島民の姿にも変化があらわれてきたのであった。



天草本伊曾保物語・平家物語(天草市立天草キリシタン館蔵)



アルメイダ像デッサン(天草市立天草キリシタン館蔵)



メダリオン〔天草市指定文化財〕(天草市立天草キリシタン館蔵)

III. 弾圧とその果てに

天草に浸透していたキリスト教も幕府の宗教政策の影響を受けていくことになる。天草島民も多数参加した島原・天草の乱は、キリスト教をよりに集結し、幕府に抵抗したものだ。そして乱後に残ったのは、ひそかに信仰を守る島民の姿であった。



天草四郎陣中旗(パネル複製)
〔原品国指定重要文化財〕
(天草市立天草キリシタン館蔵)



鶴田一郎氏「天草四郎 祈り」
(天草市立天草キリシタン館蔵)



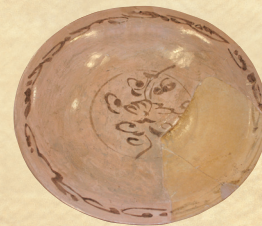
銭仏
(天草市立天草キリシタン館蔵)



ロザリオと壺〔天草市指定文化財〕
(天草市立天草キリシタン館蔵)

IV. 海外交流の姿

中世天草には中国をはじめベトナム産の陶磁器が行き交っていた。島国ながらも大陸と交流していた姿は発掘遺物からも明らかである。島として孤立しておらず、躍動した天草の姿を垣間見ることができる。



ベトナム産鉄絵大盤
〔河内浦城跡出土遺物〕
(天草市教育委員会蔵)



景德鎮系青花〔棚底城跡出土遺物〕
(天草市教育委員会蔵)

四面を海で囲まれた天草島は、海流を利用した生活を営み、国内外の多くの文物が行き交った。天草島民にとって「海」と「船」が島内の生活を支えており、こうした環境ゆえに、島特有の文化が根付いていた。天草島で暮らしていた島民の生活と、それを支えたものにはなにがあったのか。

本展覧会では「海」と「船」、「信仰」を切り口として天草島の姿を現地資料や発掘遺物などから紹介していく。本展覧会を通じて、天草を舞台におこなわれた海外交流、さらには島民の生活と文化、そして信仰の実相を理解してもらえれば幸甚である。